

東部土木登米地域だより

第7号

平成26年8月8日発行

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

長沼ダム竣工式が開催されました

今年3月に試験湛水を完了した長沼ダムにおいて、平成26年5月31日（土）に竣工式が開催されました。竣工式には、来賓として中野参議院議員、若松参議院議員、安藤宮城県議会議長、川嶋宮城県議会建設企業委員会委員長、地権者をはじめといたくさんのみなさま、主催者として村井宮城県知事、布施登米市長、佐藤栗原市長など総勢で約400名の出席がありました。



主催者あいさつ：村井宮城県知事



主催者あいさつ：布施登米市長



主催者あいさつ：佐藤栗原市長



感謝状贈呈

これまでの長沼ダム建設事業へのご協力とご尽力を賜った長沼ダム地権者会大場会長、長沼ダム上流対策協議会千田会長、長沼ダム土取場地権者協議会千葉会長に村井宮城県知事から感謝状が贈呈されました。

そのほか、催しとして、ダムの竣工を記念したくす玉開披及び記念碑除幕、故郷献花、新田小学校及び北方小学校児童による風船放天などを執り行ったほか、アトラクションとして、登米市立佐沼中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏も行われました。



くす玉開披



記念碑除幕



祝長沼ダム竣工記念演奏
平成26年5月31日 登米市立佐沼中学校吹奏楽部



田口登米市議会議長
万歳三唱

「東北風土マラソン&フェスティバル2014」が開催されました



長沼ダムの湖周道路や周辺施設を利用して、「東北風土マラソン&フェスティバル2014」が4月27日に開催されました。

東北風土マラソンは、県内唯一のフルマラソンをはじめ、ハーフマラソン、子ども向けの5キロ、2キロの4部門により競技が行われ、途中9ヶ所に設けた「エイドステーション」で、登米市や南三陸町など地元の物産グルメ19品目（フルマラソン完走した場合）と日本酒の「仕込み水」による給水でランナーをもてなしました。

また、同時に開催されたフェス

ティバルは、長沼フートピア公園を舞台に、「東北日本酒フェスティバル」、「登米風土博覧会」及び「南三陸復興市」などが企画され、地域の美味しい食材や料理などを紹介しました。

このイベントは、長沼ダムを地域資源と捉え、長沼ダム湖や田園風景など自然の魅力を改めて実感してもらうとともに、周辺地域の美味しい食材や料理を紹介することにより、観光産業や第一次産業の活性化に大きく寄与するイベントでした。



スタート地点の様子

スタート
布施登米市長

ランナーにタッチし元気づける野球
解説者古田敦也さん。

長沼ダムを活用したイベント紹介



ふるさと花火 in 長沼
8月13日

長沼の湖面にうつる内陸では珍しい水中・水上スターマインや、迫力満点の特大ナイヤガラに感動しましょう。



第25回長沼レガッタ
9月14日

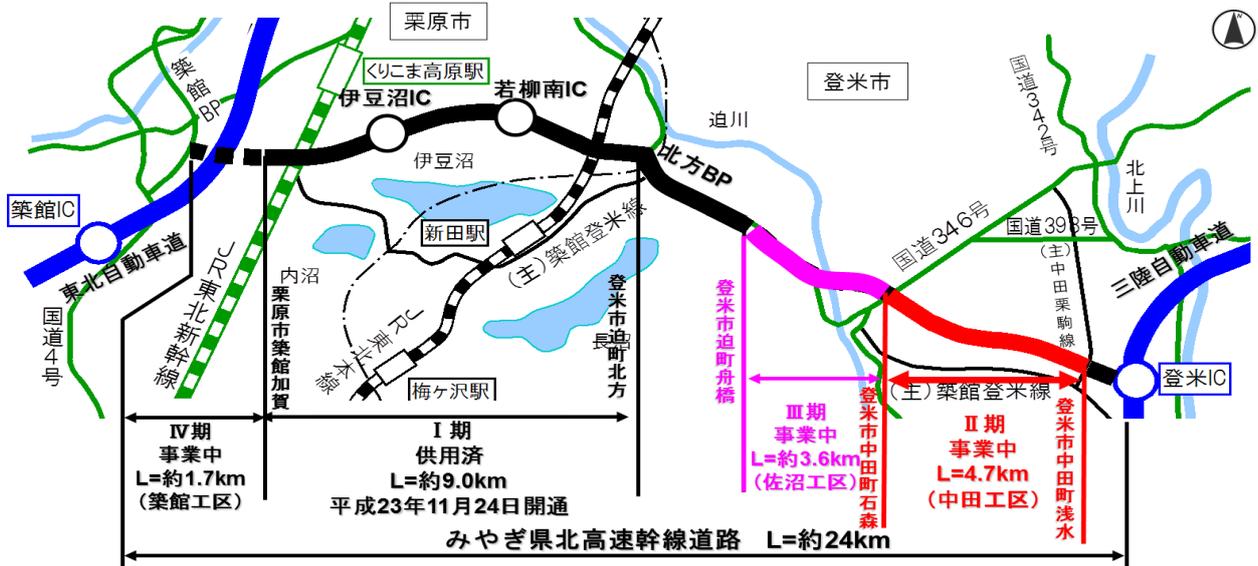
登米市内の方なら誰でも参加できるボート大会で、ボートの魅力を体感できます。会場は、大きな風車が目印となる長沼ボート場です。

みやぎ県北高速幹線道路

事業概要および事業の目的、必要性

みやぎ県北高速幹線道路は、宮城県北部において東北自動車道と三陸自動車道を東西に結び、地方中心都市の相互連携の強化に資する地域高規格道路です。

みやぎ県北高速幹線道路Ⅱ期（中田工区）・Ⅲ期（佐沼工区）は三陸自動車道登米I.C.と国道346号を通り登米市迫町舟橋を結ぶ復興支援道路です。



平成26年1月9日に、みやぎ県北高速幹線道路事業Ⅱ期（中田工区）の事業説明会を開催し、道路計画の変更内容及び今後のスケジュール等を説明しました。

また、平成26年1月30日に、同事業Ⅲ期（佐沼工区）の事業説明会を開催し、関係者の皆様に、道路のルートの説明と、現地測量及び地質調査に伴う用地立ち入りについてお願いをしました。

Ⅱ期（中田工区）については、平成26年2月20日に用地説明会を開催し、用地買収等の概要について説明しました。

その後、用地契約会を平成26年3月11日から13日及び4月9日、16日と開催し、多くの地権者の方々から用地のご協力をいただき、本年度から本格的に工事に着手する予定ですので、工事に関連して不明な点や不安なことがありましたら、お気軽に当事務所までご連絡下さい。

Ⅲ期（佐沼工区）については、本年内に計画説明会を予定していますので、引き続き、関係者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



用地説明会の様子

工程表

工区	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30以降	
Ⅱ期 中田工区	▶								
Ⅲ期 佐沼工区			▶						

土砂災害危険箇所における注意事項

毎年各地で土石流・地すべり・がけ崩れなどの土砂災害が多発し、人命・財産に甚大な被害を及ぼしています。

そこで、土砂災害の防止及び被害の軽減に関して、国民の方々に感心を深めていただくため、国土交通省、宮城県及び市町村では6月を「土砂災害防止月間」と定めています。

宮城県では、例年土砂災害の多発する梅雨・台風時期を前に県民のみなさんに、土砂災害の危険性などを認識していただくため、危険箇所のパトロールや広報活動、絵画・作文コンクールを行っています。

土砂災害から人命と財産を守るため、砂防工事等を進めていますが、整備はまだ十分ではありません。また、「東日本大震災」によって、地下の深いところまで地盤がゆるんでいます。土石流・地すべり・がけ崩れ等、土砂災害危険箇所の近くにお住まいの方は、これから台風などで土砂災害が多発する時期に入りますので、がけ等の様子が普段と違うときは、早めに安全なところへ避難して下さい。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ(前兆現象)

身のまわりでこんな現象が起こったら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとは要注意です。

がけ崩れの前ぶれ



- ①がけから小石がバラバラ落ちてくる。
- ②樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③斜面から水がわき出る。
- ④斜面にひび割れが出来る。

避難所への移動が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

土石流の前ぶれ



- ①川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花がみえたりする。
→上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。
- ②川や沢の流れがにごり、生の木が流れてくる。
→上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。
- ③山鳴りがする。異常なおいがする。地鳴りがする。
→上流で山が崩れているため。
- ④雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。
→上流の川や沢が崩れた土砂でせき止められているため。土石流の危険がせまっている。

土石流から逃げる時は、川から離れてなるべく高い所にあがろう。

地すべりの前ぶれ



- ①池の水がにごったり、減ったりする。
- ②山の樹木がザワザワとさわく。木の裂ける音や木に根が切れる音がする。
- ③地鳴りや山鳴りがする。
- ④わき水がふえる。
- ⑤地面にひび割れや段差ができる。

河川の水防と避難判断水位

参照HP→

<http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/miyagi/servlet/Gamen30Servlet>

○水防とは・・・

主に火災の発生を警戒したり、消火したりすることを「消防」というように、水害の発生を警戒したり、土のうなどで水があふれるのを防ぐことを、「みず」から「ふせぐ」と書いて水防と呼んでいます。

洪水時あるいは洪水のおそれがある時に、地域に住んでいる方々（住民）が中心となって、土のう積みなどの水防工法で川があふれるのを防いだり、注意を呼びかけたり、避難をしたりすることで、水害による人命・財産への被害を防止あるいは軽減することが「水防」の主な目的です。

「水防」とは、こうした水害に立ち向かう自助・共助・公助をすべて含めた概念だと言うことが出来ます。消防のような火災や地震が起こった後の対応ではなく、水害を未然に防止することを目標としていますので、人目につきにくく、効果がわかりにくいのですが、地域の安全のためには重要な役割を担っています。

○避難判断水位とは・・・

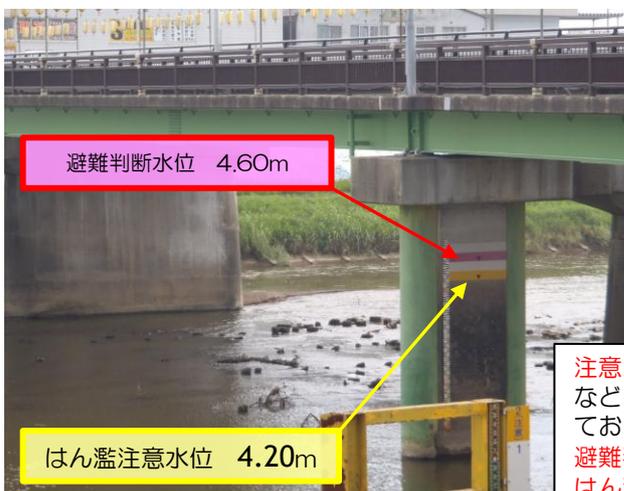
宮城県では、洪水により相当な損害が発生するおそれがある河川（水位周知河川）を指定して市町村長が発令する避難勧告や住民の方々の自主避難の目安となる水位として、避難判断水位を設定しています。

これからも、洪水による被害軽減を目的として、「避難判断水位」に達したときは、必要な情報を県民の皆様方にお知らせしていきます。

水位危険度レベル



○ 迫川（錦橋）



避難判断水位

水害の発生に備えて、市町村長の避難勧告等の発令の目安となる水位です。また、住民の方々の避難判断の目安となります。

はん濫注意水位

水害の発生に備えて、水防法で定める各水防管理団体が出動する目安になる水位です。市町村長の避難準備情報等の発令の判断、住民のはん濫に関する情報への注意喚起、水防団の出動の目安となります。

注意：東北地方太平洋沖地震による、堤防等の機能低下などを考慮し、各発令基準の暫定的な引き下げが行われております。

避難判断水位：4.60m（赤色線）→4.20m（黄色線）
はん濫注意水位：4.20m→3.60m（黄色線から60cm下）

※ 水位の表示は、量水標の値である。



スマイルサポーター紹介



新たにスマイルサポーターに認定された団体を紹介します。

○とよまコミュニティ運営協議会（平成26年3月18日認定）

活動区間は、主要地方道築館登米線の登米町寺池目子待井地内の歩道内植樹帯で、ごみ拾いや、緑化・除草作業を行っています。

「駅前町内会」「登米町環境美化奉仕団」「登米町退職者友の会」の3団体で構成され、分担して花壇の花植えなどを行っています。

観光地「みやぎの明治村」の美しい景観づくりを展開しています。



とよまコミュニティ運営協議会の皆様



花壇には美しい花々がいっぱいです

○水道機工(株)・(株)ヒラバヤシ環境サービス共同企業体（平成26年5月20日認定）

活動区間は、一級河川迫川の(有)佐沼自動車学校から下流約1.6kmまでの右岸堤防で、法面の清掃活動や除草活動を行っています。

登米市衛生センターの施設運転管理業務のかたわら、社員が一丸となって活動され、住民も利用する堤道の安全管理や環境美化に大きく貢献しています。



水道機工(株)・(株)ヒラバヤシ環境サービス
共同企業体の皆様



クリーンアップ活動



スマイルサポーター
イメージキャラクター
← レビアちゃん → すみれちゃん



○狐崎スマイル隊（平成26年7月8日認定）

活動区間は、主要地方道河南米山線の米山町字桜岡狐崎から同町字山下までの約600mの区間で、歩道・路肩の清掃作業を行っています。

狐崎行政区の皆様が活動メンバーとなり、空き缶のポイ捨てやごみ投棄が多く、秋頃には落ち葉が多い区間について、ゴミ拾いととも落ち葉掃きなども行います。



狐崎スマイル隊の皆様



認定式の様子

○立戸区長沼ダム周辺管理組合（平成26年7月17日認定）

活動区間は、長沼ダムの、迫町新田字北立戸、南深沢、北深沢に位置する、ダム湖周内の水敷で、雑草木の刈り取りや、清掃作業を行っています。

立戸区長沼ダム周辺管理組合は、長沼ダム周辺の雑草木繁茂による環境荒廃を防ごうという目的のもと、北立戸、南深沢、北深沢地区の地元住民から組織されました。

長沼ダムは今年度に完成を迎えたところであり、地元住民からの、環境美化活動への協力に深く感謝いたします。



立戸区長沼ダム周辺管理組合の皆様



懇談の様子



スマイルサポーターとは・・・

県が管理する道路や河川でボランティアによる美化活動を行う個人や企業、団体を「スマイルサポーター」として認定する制度です。

行政とみなさんが、パートナーシップを確立し、これまで道路や河川の清掃活動や緑化作業を地道に続けてきた方や、ボランティア活動に意欲のある方々（サポーター）に対して、支援を行いながら住民参加のまちづくりのお手伝いをしています。

参照HP→<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmdbk/smilesupporter.html>

～新任職員紹介～ 平成26年度〈第1回〉

私は平成26年4月1日から宮城県職員として東部土木事務所登米地域事務所道路管理班で、道路管理に従事しています。

人生初の職場それに加え初めての登米市ということで、当初は地名が分からず住民の方の要望箇所の位置を住宅地図で探す作業や、要望の対応はどうするべきかを考えることが難しく時間がかかっていました。

最近では要望の箇所を特定するのも、要望にどのような対応をするべきかを考えるのも初めに比べ早くなってきましたが、まだ完全に登米市内の地理を把握できていないのが現状です。

しかし、こんな現状を打開するべく、私は休日に愛車のフェアレディZで登米市内の様々な地域をまわるようにしています。

もちろん制限速度を守ったうえでです。

こんな私ですが、宮城県の職員として、宮城県民のために道路管理という分野から、よりよい宮城の県土作りに携わっていきたいと考えていますので、よろしくお願いします。



(佐々木技師：道路管理班)

編集後記

本号は、5月31日の長沼ダム竣工式の様子や、長沼ダム湖などを活用した様々なイベントを紹介しております。

また、梅雨も明け夏本番となりましたが、これから台風シーズンを迎えますので、土砂災害への対応や洪水への対応として、日頃から注意すべきことなどを情報提供しました。

さらに、新たにスマイルサポーターに認定された方々の紹介をしております。

今後もこの登米地域だよりを通して、事業概要など様々な情報をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

平成26年度
宮城県土木部ロゴマーク



宮城県東部土木事務所登米地域事務所

〒987-0511

登米市迫町佐沼字西佐沼150-5

TEL：0220-22-7533

FAX：0220-22-7534

事務所ホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/et-tmdbk/>

事務所代表メールアドレス

et-tmdbk@pref.miyagi.jp